

第 1 4 2 回 (令和 7 年 1 0 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 4 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

社員名	作業数	出来高単価
小島 真美	754	231
北 かおり	684	235
上田 冬子	768	237
中村 美香	679	241
森山 正一	715	246
平田 サキ	736	249
長谷川 進	703	253
大石 陽太	728	256

<処理条件>

- <出力形式>のような出来高給一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 出来高給＝出来高単価×作業数
特別手当＝65×(作業数－500)
支給額＝出来高給＋特別手当
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)を求めなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式>

出 来 高 給 一 覧 表

社員名	作業数	出来高単価	出来高給	特別手当	支給額
合 計		——			
平 均		——			

第 1 4 2 回 (令和7年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 3 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	社員名	出張日数	販売額
11	鈴木 英雄	9	818,700
12	杉山 京子	12	850,000
13	大久保 豊	14	935,600
14	原 さおり	8	764,400
15	加藤 洋平	13	876,800
16	大川 明美	10	797,100
17	森口 春樹	11	907,500
18	清水 真理	7	741,300
19	中西 正秀	15	969,200

<乗率表>

販売額	乗率
850,000 以上	2.7%
それ以外	2.3%

<処理条件>

- <出力形式1>のような出張諸手当一覧表を作成しなさい。（——— の部分は空白とする）
- 出張手当=2,850×出張日数
- 乗率は<乗率表>を参照し、求めなさい。（%の小数第1位までの表示とする）
販売手当=販売額×乗率（整数未満切り捨て）
特別手当=(販売額-500,000)×2.8%（整数未満切り上げ）
支給総額=出張手当+販売手当+特別手当
- 特別手当の多い順に順位をつけなさい。
- 合計を求めなさい。
- 支給総額の少ない順に並べ替えなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。（平均は整数未満四捨五入の表示とする）
- 罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）

<出力形式1>

出張諸手当一覧表

CO	社員名	出張日数	出張手当	販売額	乗率	販売手当	特別手当	支給総額	順位

(途中省略)

——	合 計				——				——

<出力形式2>

	出張手当	販売手当	特別手当
平 均			
最 大			

第 1 4 2 回 (令和 7 年 1 0 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準 2 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

会CO	会社名	商CO	日数
101	秋山商事	14	11
102	ササキ総業	12	7
103	G T企画	11	8
104	二階堂電機	12	14
105	丸田貿易	14	9
106	新中央工業	13	13
107	加藤建設	12	12
108	安全ホーム	11	10

<商品テーブル>

商CO	商品名	基本料金
11	C商品	98,760
12	D商品	72,480
13	E商品	61,570
14	F商品	86,290

<処理条件>

- <出力形式1>のような会社別貸出料金一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 商品名・基本料金は<商品テーブル>を表検索しなさい。
- 追加料金=基本料金÷7×(日数-7)×0.49(整数未満切り捨て)
補償料=(基本料金+追加料金)×3.4%(整数未満切り上げ)
割引額=150×日数
請求額=基本料金+追加料金+補償料-割引額
- 日数が13以下で請求額が100,000以上に“A”、それ以外に“B”の判定をしなさい。
- 合計を求めなさい。
- 請求額の多い順に並べ替えなさい。
- 会社別貸出料金一覧表の商品名のセル証明をしなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。割引額・請求額は¥表示とする。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 会社別貸出料金一覧表の請求額の値を会社名別の縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“会社別の請求額”とし、凡例は“請求額”とする。

<出力形式1>

会 社 別 貸 出 料 金 一 覧 表

会CO	会社名	商CO	商品名	基本料金	日数	追加料金	補償料	割引額	請求額	判定
(途 中 省 略)										
——	合 計	——	——							——

<出力形式2>

	日数	割引額	請求額
平 均			
最 大			
最 小			

第 1 4 2 回 (令和 7 年 1 0 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 2 級問題

<問 題>

1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
3. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

商C O	商品名	単価	仕入数
101	A商品	1,543	673
102	B商品	1,819	645
103	C商品	1,146	741
104	D商品	1,013	612
105	E商品	1,695	406

※<出力形式1>で使用する。

得C O	得意先名	商C O	売上数
11	桜スーパー	104	309
12	MYマート	102	239
13	佐々木商会	103	341
14	神奈川食品	102	400
15	ひがし商事	105	376
16	明日香総業	101	247
17	新東海物産	104	278
18	新鮮ストア	103	391
19	マルヤ商店	101	390

※<出力形式2>で使用する。

<値引率表>

売上数	値引率
390以上	8.3%
300以上 390未満	7.4%
1以上 300未満	6.5%

<評価表>

売上数	請求額	評価
400未満 かつ 50万以上		A
400未満 かつ 40万以上 50万未満		B
それ以外		C

<処理条件>

1. <出力形式1>のような商品別定価計算表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
2. 仕入額=単価×仕入数
手数料=仕入額×3.9%(整数未満切り上げ)
定価=(仕入額+手数料)÷仕入数×1.26(整数未満切り捨て)
3. 合計を求めなさい。
4. <出力形式2>のような得意先別請求額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
5. 商品名・定価は、商品別定価計算表を表検索しなさい。
6. 売上額=定価×売上数
7. 値引率は<値引率表>を参照し、求めなさい。(% の小数第1位までの表示とする)
値引額=売上額×値引率(整数未満切り上げ)
請求額=売上額-値引額
8. 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
9. 合計を求めなさい。
10. 売上数の昇順に並べ替えなさい。
11. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
12. 得意先別請求額一覧表の定価と評価のセル証明をしなさい。
13. 得意先別請求額一覧表の請求額の値を得意先名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“得意先別の請求額”とし、凡例は“請求額”とする。

<出力形式1>

商品別定価計算表

商C O	商品名	単価	仕入数	仕入額	手数料	定価
(途 中 省 略)						
——	合 計	——				——

<出力形式2>

得 意 先 別 請 求 額 一 覧 表

得C O	得意先名	商C O	商品名	定価	売上数	売上額	値引率	値引額	請求額	評価
(途 中 省 略)										
——	合 計	——	——	——			——			——

第142回 (令和7年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準1級問題

<問題>

1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
3. データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
4. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	社員名	作業数	完成数	等級
101	片山 聖子	2,896	2,819	3
102	安藤 大地	2,992	2,776	3
103	夏目 優香	2,797	2,702	5
104	南 真一郎	2,968	2,837	1
105	佐々木 心	2,964	2,678	5
106	井上 政治	3,236	3,073	4
107	野口 英美	2,794	2,619	2
108	中川 哲夫	2,813	2,575	1
109	堀内 愛奈	3,025	2,965	4

※等級のデータは<出力形式2>で使用する。

<査定の計算式>

完成指数	査定
95以上	完成数÷2,800×120
それ以外	完成数÷2,800×90

※査定は整数未満切り上げ。

<技能手当の計算式>

査定	技能手当
100以上	350×査定
それ以外	300×査定

<基本給テーブル>

等級	基本給
1	190,700
2	178,400
3	166,100
4	153,800
5	141,500

<評価表>

査定	支給額	評価
90以上 かつ 33万以上		P
90以上 かつ 30万以上 33万未満		G
それ以外		S

<処理条件>

1. <出力形式1>のような社員別査定表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
2. 完成指数=完成数÷作業数×100 (整数未満切り上げ)
3. 査定は<査定の計算式>を参照し、求めなさい。
4. 合計を求めなさい。
5. <出力形式2>のような社員別支給額一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
6. 社員名・査定、基本給はそれぞれ社員別査定表、<基本給テーブル>を表検索しなさい。
7. 能力給=35×完成数 ※完成数は社員別査定表を参照する。
特別手当=(基本給+能力給)×8.7% (整数未満四捨五入・関数使用)
8. 技能手当は<技能手当の計算式>を参照し、求めなさい。
支給額=基本給+能力給+特別手当+技能手当
9. 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
10. 合計を求めなさい。
11. 支給額の降順に並べ替えなさい。
12. 社員別支給額一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。
13. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
14. <出力形式2>の基本給・能力給を社員名別の積み上げ横棒グラフにしなさい。
タイトルは“社員別の比較”とし、凡例は“基本給”、“能力給”とする。

<出力形式1>

社員別査定表

CO	社員名	作業数	完成数	完成指数	査定

(途中省略)

——	合 計			——	——
----	-----	--	--	----	----

<出力形式2>

社員別支給額一覧表

CO	社員名	査定	等級	基本給	能力給	特別手当	技能手当	支給額	評価

(途中省略)

——	合 計	——	——						——
----	-----	----	----	--	--	--	--	--	----

<出力形式3>

能力給が98,000円以上の技能手当の合計	
等級が5以外の支給額の最小	

第142回 (令和7年10月) 情報処理技能検定試験(表計算) 1級問題

＜問題＞

1. 下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
3. データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
4. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

得CO	商CO	売上数
11X	101	478
12Z	101	563
13Y	101	887
14X	101	392
11X	102	846
12Z	102	486
13Y	102	291
14X	102	522
11X	103	694
12Z	103	500
13Y	103	750
14X	103	912
11X	104	801
12Z	104	721
13Y	104	450
14X	104	553

＜得意先テーブル＞

得点	得意先名
11X	太田総業
12Z	K C企画
13Y	あきら堂
14X	川西商事

＜商品テーブル＞

商C O	商品	原価
101	A	2,250
102	B	2,390
103	C	2,020
104	D	1,760

＜割引率テーブル＞

ランク	割引率
X	5.7%
Y	6.4%
Z	7.9%

<判定表>

売上数	請求額	判定
800 未満 かつ 140 万以上		***
800 未満 かつ 110 万以上 140 万未満		**
それ以外		*

※ランクは得C Oの右から
1文字目とする。

<处理条件>

1. <出力形式 1>のような請求額一覧表を作成しない。（——の部分は空白とする）
2. 得意先名は<得意先テーブル>を表検索しない。
3. 商品名は<商品テーブル>の商品を表検索し、“商品”の文字を関数または演算子を使用して結合しない。
（例 A商品）
4. 定価＝原価×1.24（10 位未満切り上げ） ※原価は<商品テーブル>を参照する。
売上額＝定価×売上数
5. 割引率は<割引率テーブル>を参照し、求めなさい。（%の小数第 1 位までの表示とする）
割引額＝売上額×割引率（100 位未満四捨五入）
請求額＝売上額－割引額
6. 判定は<判定表>を参照し、求めなさい。
7. 合計を求めなさい。
8. <出力形式 1>と同じ形式で、割引額が 10 万以上 13 万未満を抽出しない。
表題は“請求額一覧表（割引額 10 万円以上 13 万円未満）”とし、商 C O の昇順で割引額の降順にソートしない。
9. 請求額一覧表を基に<出力形式 2>のような処理をしない。
10. 請求額一覧表を基に<出力形式 3>のような処理をしない。（平均は整数未満四捨五入の表示とする）
11. 罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
12. <出力形式 2>の請求額を得意先名別の横棒グラフにしない。
タイトルは“得意先別の比較”とし、凡例は“請求額”とする。

<出力形式1>

請 求 額 一 覧 表										
得CO	得意先名	商CO	商品名	定価	売上数	売上額	割引率	割引額	請求額	判定
(途 中 省 略)										
—	合 計	—	—	—			—			—

<出力形式2>

得意先名	売上数	割引額	請求額
太田総業			
K C企画			
あきら堂			
川西商事			

<出力形式3>

売上数が 450 より多く売上額が 150 万円以下の件数	
B 商品以外で売上数が 750 以上の請求額の合計	
請求額が 130 万円未満の売上額の平均	

第142回（令和7年10月）
情報処理技能検定試験（表計算）
初段 問題

試験時間	30分
------	-----

1. <入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成しなさい。
2. 表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
3. <出力形式>に「合計」「平均」などがある場合は、関数により処理を行うこと。ただし「——」部分は空白とする。
4. 表には罫線を引くこと。（罫線の太線と細線は区別する。外枠は太線とする。）
5. 使用したテーブルの表の形式は問わない。
6. [] 内文字はシート名とする。テーブルや作成する表にシート名があるものは、それぞれこのシート名でシートを作成し、処理を行うこと。
(例 <出力形式1> [前期]・[中期]・[後期] →前期、中期、後期の各シートを作成し、それぞれ指示された表を作成する。)
7. 作成したデータは事前に準備したファイル（初段・受験番号・名前）に上書き保存する。
(例：初段101日検太郎)

問 題

<入力データ>（各 2 4 件）※テキストデータは SPS フォルダ内でのデータを使用する。

〔前期〕

販ＣＯ	商ＣＯ	販売数
11X	101	138
11X	102	148
11X	201	223
11X	202	137
12Z	101	195

：	：	：
15X	202	210
16Z	101	120
16Z	102	226
16Z	201	185
16Z	202	99

〔後期〕

販ＣＯ	商ＣＯ	販売数
11X	101	158
11X	102	124
11X	201	149
11X	202	217
12Z	101	139

：	：	：
15X	202	196
16Z	101	106
16Z	102	173
16Z	201	161
16Z	202	168

<販売先テーブル>〔テーブル〕

販ＣＯ	販売先名	利益目標
11X	ショップ東	458,600
12Z	長田堂	514,900
13Y	上川商事	543,000
14Y	ORIME	501,300
15X	近藤百貨	495,300
16Z	堂本用品	455,200

<商品テーブル>〔テーブル〕

商ＣＯ	商品名	原価
101	商品A	1,784
102	商品B	2,168
201	商品C	1,834
202	商品D	2,247

<利益率表>〔テーブル〕

販売数	商ＣＯの下1桁	
	1	2
1 以上 150 未満	31%	30%
150 以上 210 未満	28%	27%
210 以上	25%	24%

<割引率テーブル>〔テーブル〕

区分	割引率
X	2.9%
Y	3.2%
Z	3.6%

※区分は販ＣＯの右から1文字目。

<処理条件>

1. <入力データ>（テキストデータ、日本語シフトJIS、CSV形式）、<販売先テーブル>、<商品テーブル>、<利益率表>を使用し、<出力形式1>のような表をそれぞれのシートに作成。

<出力形式1>〔前期〕・〔後期〕

販ＣＯ	販売先名	商ＣＯ	商品名	販売数	定価	値引額	販売額	利益額
（ 途 中 省 略 ）								
—	合 計	—	—		—			

- 1) 販売先名、商品名はそれぞれ<販売先テーブル>、<商品テーブル>を表検索。
 - 2) 定価＝原価×(1+利益率)（10位未満切り捨て）
 - 3) 値引額は、販売数が200以上または定価が2,750以上の場合、定価×販売数×7.8%、それ以外は、定価×販売数×6.2%。（10位未満切り上げ）
 - 4) 販売額＝定価×販売数－値引額
 - 5) 利益額＝販売額－原価×販売数
2. <出力形式1>を基に、<出力形式2>のような表を作成。

<出力形式2>〔計算表〕

商品別総括表

商品名	販売数	販売額	利益額
（ 途 中 省 略 ）			
合 計			

- 1) 販売数・販売額・利益額は、前期シートの各項目の集計+後期シートの各項目の集計。
- 2) 利益額の昇順に並べ替え。

3. <出力形式1>、<販売先テーブル>、<割引率テーブル>を基に、<出力形式3>のような表を作成。

<出力形式3> [計算表]

販 売 先 別 請 求 額 計 算 表														
販C○	販売先名	前期			後期			年間			達成指数	割引額	請求額	判定
		販売数	販売額	利益額	販売数	販売額	利益額	販売数	販売額	利益額				
(途 中 省 略)														
—	合 計										—			—

- 1) 販売先名は<販売先テーブル>を表検索。
- 2) 前期・後期の各販売数・販売額・利益額は、基表の同項目の値を集計。
- 3) 年間の販売数・販売額・利益額は、前期の各項目＋後期の各項目。
- 4) 達成指数= $\frac{\text{年間の利益額}}{\text{利益目標}} \times 100$ (整数未満切り上げ)
- 5) 割引額＝年間の販売額×割引率 (100 位未満四捨五入)
- 6) 請求額＝年間の販売額－割引額
- 7) 判定は<判定表>を参照し求める。

<判定表>

達成指数	年間の利益額	判定
100 以上	かつ 年間の利益額の平均以上	A
それ以外		B

4. <出力形式3>を基にグラフを[計算表]シートに作成。

- 1) グラフの種類は、販売先名別の年間の販売数を折れ線、請求額を縦棒にした複合グラフ。
- 2) グラフタイトル、凡例は以下のとおりにする。

